

令和2年度上郷地区センター（上郷地区公民館）事業計画

1 運営方針

地域を取り巻く情勢は、少子高齢化の進行、人口の減少、中学校の統廃合、各種団体の後継者不足、商店等の閉鎖、若者層の流出などにより、地域力の衰退とともに、地域全体の活気は失われつつあります。

少子高齢化、人口減少は更に加速し、上郷町においても町人口が2020年の2,374人から10年後の2030年には、1,919人と19%も減少するとの推計が出ております。

住民構成の変化に伴い地域コミュニティの自治力の低下や、行政の力だけでは対応できない問題も多くなってきております。

このような中、持続可能な地域コミュニティの実現を図るためには、地域課題を住民自ら話し合い、課題解決に向けた活動を実践することが重要と考え、その指針となる地域づくり計画を策定しております。

この計画に基づき、地域の課題解決に向けた活動を実践し、将来像として掲げた「自然・文化を大切に人が集うまち上郷」を住民参加による協働で目指していくこととします。

また、市民協働による課題解決のために、遠野市が進めている「小さな拠点による地域づくり」に伴う、令和3年4月からの地区センターの指定管理者制度導入に向け、新たな地域運営組織の構築など必要な整備を進めていくこととします。

2 重点施策

[地域づくり]

- 市民憲章理念の実現に向けた、地域づくり活動を推進する。
- 地域づくり計画に掲げた活動を推進する。
- 減災に対する町民意識の高揚を図り、災害に強いまちづくりを推進する。

[健康づくり]

- 各自治会等に出向いて、健康出前講座の開催に取り組む。
- ICT健幸ポイント事業の啓発やスポーツを通じて、楽しく健康づくりに取り組む場を提供する。

[人づくり]

- 地域教育協議会を中心に、次世代を担う子どもたちの健全育成の推進を図る。
- 地域における若者定住対策に取り組むと共に、地域づくりリーダーの育成に努める。

[地域支え合いづくり]

- 一人暮らし高齢者の見守りや買い物代行による交通弱者支援等、地域支え合いづくりを推進する。

3 活動の展開

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	住民ニーズを把握しながら、各年代に沿った魅力ある学習講座と生涯学習の場の設定に努める。特に、シニア世代が生涯教育を通じて、自らの特技、趣味を活かしながら生涯現役で活躍できる場づくりを計画していく。 また、地域教育協議会との連携により、世代間交流等を通して、次代を担う子どもたちの健全な青少年育成に努める。

健康づくりの推進	<p>体育協会、総合型スポーツクラブと連携し、町民誰もが気軽に楽しく参加できる運動の場を提供する。</p> <p>また、保健推進委員等との連携による、各自治会単位による健康出前講座を開催するなど健康づくり意識の啓発に努める。</p>
文化活動の推進	<p>各種郷土芸能団体で構成する上郷町郷土芸能連絡協議会と保育園・小学校・中学校との連携のもと、「ふるさと学習」への支援を推進するほか、郷土の歴史や文化を学習する場を提供する。</p> <p>また、誰もが集えるまつりを開催し、郷土愛の醸成と地域活性化を図る。</p> <p>更には、遠野遺産認定制度の積極的な推進と、地域資源利活用の意識高揚に努める。</p>
コミュニティ活動の推進	<p>街頭指導や交通安全の意識高揚を図る活動、スクールガードボランティアによる児童・生徒の見守り及び定期夜間パトロール等の防犯活動を推進し、町民誰もが安全安心で暮らせる住みよい地域づくりに引き続き努める。</p> <p>また、敬老会、ひとり暮らし交流会の開催を今年度も予定するほか、地域ぐるみによる花いっぱい運動と、大掃除週間及び河川清掃の展開のほか、地区民生児童委員協議会と連携して、ひとり暮らし高齢者の見守りや生活・交通弱者への買物支援に今年度も取り組むなど、明るく住みよい地域支え合いづくりを推進する。</p> <p>更には、地域づくり広報誌「コミュニティかみごう」を毎月発行し、情報の提供・共有に努める。</p>
推進基盤の整備	<p>健康で明るく住みよいまちづくりを推進するため、地域づくり連絡協議会を構成する自治会、各団体・関係機関と連携を密にし、みんなで築くふるさと推進事業等を活用しながら、市民協働による地域課題の解決を図る。</p> <p>また、自立した地域運営ができる組織の見直しを検討する。</p> <p>更には、災害時における自主防災組織の存在は、益々重要となり果たす役割は大きくなると思われることから、自治会単位の防災訓練実施啓発や減災に対する町民意識の高揚を図り、災害に強いまちづくりを推進する。</p>
支援育成事業	<p>各種団体の自主活動を側面から支援し、更に地域の特性を活かした活動となるよう推進する。特に、各組織団体に共通する課題は、将来にわたって組織を担う新規加入者が少ないことから、交流機会の創出などに工夫を凝らすなどし、積極的な新規加入と組織の持続を目指した取組みを支援する。</p> <p>また、次代を担う世代の活動の活性化に取り組み、親睦と交流の場を設けながら、地域を担う人材育成に努める。</p>